

# 健全化比率DB (池田市)

『健全化比率DB』は、健全化比率の基礎データからの分析、他団体との比較、独自比率の算定などができる、市区町村財政分析データベースです。

「\*」印は、財政統計研究所の算定データです。

資料作成/財政統計研究所				データ年度 選択団体名	2007(H19)年 池田市	2008(H20)年 池田市	2009(H21)年 池田市	2010(H22)年 池田市	2011(H23)年 池田市
健全化判断比率一覧	1-001	実質赤字比率 *	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)		1.24	3.88			
	1-002		補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-)		1.30	4.06			
	1-003		早期健全化基準(11.25～15%)		-12.51	-12.52			
	1-004	(参考)公営比率 *	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-)		2.44	4.32			
	1-005		補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-)		2.56	4.52			
	1-006	連結実質赤字比率 *	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)		3.68	8.20			
	1-007		補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-)		3.86	8.58			
	1-008		早期健全化基準(16.25～20%)		-17.51	-17.52			
	1-009	実質公債費比率 *	実質公債費比率(3ヵ年平均)		8.19	8.08			
	1-010		単年度実質公債費比率(本年度)		8.64	7.10			
	1-011		補正単年度実質公債費比率(本年度)		9.13	7.47			
	1-012	将来負担比率 *	将来負担比率		140.9	140.0			
	1-013		補正将来負担比率		148.9	147.4			
	1-014		修正将来負担比		136.8	130.6			
	1-015		補正修正将来負担比率		144.5	137.6			
	1-016	参考資料 *	臨時財政対策債発行可能額(本年度)/標準財政規模(本年度)		4.69	4.41			
	1-017		元利償還金等に係る基準財政需要額算入額(本年度)/標準財政規模(本年度)		12.21	12.47			
	1-018		標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)		1.49	7.69			
	1-019		補正標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)		-3.27	2.94			
	1-020		人口増減率(5 (本年度.3.31住基人口/5年前.3.31住基人口)		1.54	2.70			
	1-021	人口増減率(5 (国調人口/前回・国調人口)		0.10	0.10				
	1-022	市町村類型等 (前年度市町村類型等)		都市Ⅲ-3	都市Ⅲ-3				
	1-023	財政統計研究所 * (切捨処理後の比率)	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)		1.23	3.88			
	1-024		連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)		3.67	8.19			
	1-025		実質公債費比率(3ヵ年平均)		8.1	8.0			
	1-026	総務省 公表比率	将来負担比率		140.9	139.9			
	1-027		実質赤字比率		-	-			
	1-028		連結実質赤字		-	-			
	1-029		実質公債費比率(3ヵ年平均)		8.1	8.0			
	1-030		将来負担比率		140.9	139.9			
実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	1.23	3.88				
	2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-				
	2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	1.24	3.88				
	2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	1.30	4.06				
	2-035	早期健全化基準(11.25～15%)		-12.51	-12.52				
	2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A (本年度分)	243,447	759,223				
	2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D (本年度分)	19,653,138	19,563,723				
	2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C (本年度分)	18,731,444	18,700,419				
	2-039	臨時財政対策債発行可能額	D (本年度分)	921,694	863,304				
	2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計	一般会計			
2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1～	一般会計等1	実質収支額	243,447	759,223				

2-042	16) 実質赤字比率=A/B*100が負数の場合における、A/B*100の絶対値	一般会計等2	会計名					
2-043		一般会計等2	実質収支額					
2-044		一般会計等3	会計名					
2-045		一般会計等3	実質収支額					
2-046		一般会計等4	会計名					
2-047		一般会計等4	実質収支額					
2-048		一般会計等5	会計名					
2-049		一般会計等5	実質収支額					
2-050		一般会計等6	会計名					
2-051		一般会計等6	実質収支額					
2-052		一般会計等7	会計名					
2-053		一般会計等7	実質収支額					
2-054		一般会計等8	会計名					
2-055		一般会計等8	実質収支額					
2-056		一般会計等9	会計名					
2-057		一般会計等9	実質収支額					
2-058		一般会計等10	会計名					
2-059		一般会計等10	実質収支額					
2-060		一般会計等11	会計名					
2-061		一般会計等11	実質収支額					
2-062	一般会計等12	会計名						
2-063	一般会計等12	実質収支額						
2-064	一般会計等13	会計名						
2-065	一般会計等13	実質収支額						
2-066	一般会計等14	会計名						
2-067	一般会計等14	実質収支額						
2-068	一般会計等15	会計名						
2-069	一般会計等15	実質収支額						
2-070	一般会計等16	会計名						
2-071	一般会計等16	実質収支額						
2-072		A 一般会計等	合計(1~16)	243,447	759,223			
連結実質赤字比率	3-073	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		切捨て	3.67	8.19		
	3-074	連結実質赤字比率(総務省)		切捨て	-	-		
	3-075	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	3.68	8.20		
	3-076	補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	3.86	8.58		
	3-077	早期健全化基準(16.25~20%)			-17.51	-17.52		
	3-078	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	2.44	4.32		
	3-079	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	2.56	4.52		
	3-080	連結実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A	(本年度分)	722,859	1,604,192		
	3-081	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	B=C+D	(本年度分)	19,653,138	19,563,723		
	3-082	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	C	(本年度分)	18,731,444	18,700,419		
	3-083	臨時財政対策債発行可能額	D	(本年度分)	921,694	863,304		
	3-084	連結実質赤字比率の	1	一般会計等	合計	243,447	759,223	
	3-085	算定に用いた、会計	2	公営事業1	事業区分	①	①	
	3-086	名と実質収支額また	3	公営事業1	会計名	国民健康保険事	国民健康保険事業特別会計	
	3-087	は資金不足・剰余額	4	公営事業1	実質収支額	-376,860	-611,689	
3-088	(1~116) 連結実	5	公営事業2	事業区分	②	②		
3-089	質赤字比率	6	公営事業2	会計名	介護保険事業	介護保険事業特別会計		
3-090	=A/B*100が負数の	7	公営事業2	実質収支額	131,995	90,367		
3-091	場合における、	8	公営事業3	事業区分	⑤	③		
3-092	A/B*100の絶対値	9	公営事業3	会計名	老人保健医療事	後期高齢者医療事業特別会計		

3-093	10	公営事業3	実質収支額	-116,692	24,880		
3-094	11	公営事業4	事業区分	0	⑤		
3-095	12	公営事業4	会計名			老人保健医療事業特別会計	
3-096	13	公営事業4	実質収支額		-7,852		
3-097	14	公営事業5	事業区分	0	0		
3-098	15	公営事業5	会計名				
3-099	16	公営事業5	実質収支額				
3-100	17	公営事業6	事業区分	0	0		
3-101	18	公営事業6	会計名				
3-102	19	公営事業6	実質収支額				
3-103	20	公営事業7	事業区分	0	0		
3-104	21	公営事業7	会計名				
3-105	22	公営事業7	実質収支額				
3-106	23	公営事業8	事業区分	0	0		
3-107	24	公営事業8	会計名				
3-108	25	公営事業8	実質収支額				
3-109	26	公営事業9	事業区分	0	0		
3-110	27	公営事業9	会計名				
3-111	28	公営事業9	実質収支額				
3-112	29	公営事業10	事業区分	0	0		
3-113	30	公営事業10	会計名				
3-114	31	公営事業10	実質収支額				
3-115	32	公営事業11	事業区分	0	0		
3-116	33	公営事業11	会計名				
3-117	34	公営事業11	実質収支額				
3-118	35	公営事業12	事業区分	0	0		
3-119	36	公営事業12	会計名				
3-120	37	公営事業12	実質収支額				
3-121	38	公営事業13	事業区分	0	0		
3-122	39	公営事業13	会計名				
3-123	40	公営事業13	実質収支額				
3-124	41	法適1	会計名	水道事業		水道事業会計	
3-125	42	法適1	資金不足・剰余額	993,744		1,369,416	
3-126	43	法適2	会計名	病院事業		病院事業会計	
3-127	44	法適2	資金不足・剰余額	-265,168		-334,071	
3-128	45	法適3	会計名	0		0	
3-129	46	法適3	資金不足・剰余額	0		0	
3-130	47	法適4	会計名	0		0	
3-131	48	法適4	資金不足・剰余額	0		0	
3-132	49	法適5	会計名	0		0	
3-133	50	法適5	資金不足・剰余額	0		0	
3-134	51	法適6	会計名	0		0	
3-135	52	法適6	資金不足・剰余額	0		0	
3-136	53	法適7	会計名	0		0	
3-137	54	法適7	資金不足・剰余額	0		0	
3-138	55	法適8	会計名	0		0	
3-139	56	法適8	資金不足・剰余額	0		0	
3-140	57	法適9	会計名	0		0	
3-141	58	法適9	資金不足・剰余額	0		0	
3-142	59	法適10	会計名	0		0	
3-143	60	法適10	資金不足・剰余額	0		0	

3-144	61	法適11	會計名	0	0		
3-145	62	法適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-146	63	法適12	會計名	0	0		
3-147	64	法適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-148	65	法適13	會計名	0	0		
3-149	66	法適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-150	67	法適14	會計名	0	0		
3-151	68	法適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-152	69	法適15	會計名	0	0		
3-153	70	法適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-154	71	法適16	會計名	0	0		
3-155	72	法適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-156	73	法適17	會計名	0	0		
3-157	74	法適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-158	75	法適18	會計名	0	0		
3-159	76	法適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-160	77	法適19	會計名	0	0		
3-161	78	法適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-162	79	法非適1	會計名	下水道事業	下水道事業特別会計		
3-163	80	法非適1	資金不足・剰余額	112,393	313,918		
3-164	81	法非適2	會計名	0	0		
3-165	82	法非適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-166	83	法非適3	會計名	0	0		
3-167	84	法非適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-168	85	法非適4	會計名	0	0		
3-169	86	法非適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-170	87	法非適5	會計名	0	0		
3-171	88	法非適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-172	89	法非適6	會計名	0	0		
3-173	90	法非適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-174	91	法非適7	會計名	0	0		
3-175	92	法非適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-176	93	法非適8	會計名	0	0		
3-177	94	法非適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-178	95	法非適9	會計名	0	0		
3-179	96	法非適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-180	97	法非適10	會計名	0	0		
3-181	98	法非適10	資金不足・剰余額	0	0		
3-182	99	法非適11	會計名	0	0		
3-183	100	法非適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-184	101	法非適12	會計名	0	0		
3-185	102	法非適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-186	103	法非適13	會計名	0	0		
3-187	104	法非適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-188	105	法非適14	會計名	0	0		
3-189	106	法非適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-190	107	法非適15	會計名	0	0		
3-191	108	法非適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-192	109	法非適16	會計名	0	0		
3-193	110	法非適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-194	111	法非適17	會計名	0	0		

3-195		112	法非適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-196		113	法非適18	会計名	0	0		
3-197		114	法非適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-198		115	法非適19	会計名	0	0		
3-199		116	法非適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-200		A	連結黒字赤字額	合計(1~116)	722,859	1,604,192		
4-201	実質公債費比率*	四捨五入	(3カ年平均)	8.18582	8.07590			
4-202	実質公債費比率(総務省)	切捨て	(3カ年平均)	8.1	8.0			
4-203	実質公債費比率1*	四捨五入	(前々年度分)	7.42647	8.49006			
4-204	実質公債費比率2*	四捨五入	(前年度分)	8.49006	8.64093			
4-205	実質公債費比率3*	四捨五入	(本年度分)	8.64093	7.09672			
4-206	補正単年度実質公債費比率*		(本年度分)	9.12861	7.47349			
4-207	実質公債費負担額1	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前々年度分)	1,267,866	1,478,012			
4-208	実質公債費負担額2	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前年度分)	1,478,012	1,490,809			
4-209	実質公債費負担額3	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(本年度分)	1,490,809	1,215,257			
4-210	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前々年度分)	19,452,522	19,783,080			
4-211	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前々年度分)	18,329,020	18,766,900			
4-212	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前々年度分)	1,123,502	1,016,180			
4-213	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前々年度分)	2,380,264	2,374,338			
4-214	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前年度分)	19,783,080	19,653,138			
4-215	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前年度分)	18,766,900	18,731,444			
4-216	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前年度分)	1,016,180	921,694			
4-217	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前年度分)	2,374,338	2,400,269			
4-218	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(本年度分)	19,653,138	19,563,723			
4-219	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(本年度分)	18,731,444	18,700,419			
4-220	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(本年度分)	921,694	863,304			
4-221	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(本年度分)	2,400,269	2,439,526			
4-222	前々年度分の実質公債費比率の算定に用いた、実質公債費負担額等の算出に係る基礎数値	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(前々年度分)	2,274,394	2,516,776			
4-223		② 積立不足額を考慮して算定した額	(前々年度分)					
4-224		③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還額	(前々年度分)	0	0			
4-225		④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債の発行額	(前々年度分)	1,373,323	1,335,574			
4-226		⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた額	(前々年度分)	0	0			
4-227		⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0			
4-228		⑦ 一時借入金の利子	(前々年度分)	413	0			
4-229		⑧ 特定財源の額	(前々年度分)					
4-230		⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	771,388	652,718			
4-231		⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	77,811	76,399			
4-232		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(前々年度分)	699,707	851,764			
4-233		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元金)	(前々年度分)	491,761	437,576			
4-234		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	0	0			
4-235		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	339,597	355,881			
4-236		⑮ 標準税収入額等	(前々年度分)	17,801,430	18,179,760			
4-237		⑯ 普通交付税額	(前々年度分)	527,590	587,140			
4-238		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(前々年度分)	1,123,502	1,016,180			
4-239		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方債	(前々年度分)	0	0			
4-240		⑥の内訳	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0		
4-241			いわゆる五省協定等により、利	(前々年度分)	0	0		
4-242			国営土地改良事業並びに独立	(前々年度分)	0	0		
4-243			地方公務員等共済組合が建設	(前々年度分)	0	0		
4-244			社会福祉法人が施設の建設の	(前々年度分)	0	0		
4-245			損失補償又は保証に係る債務	(前々年度分)	0	0		

4-246		地方公共団体以外の者の債務(前々年度分)		0	
4-247		その他これらに準ずると認めら(前々年度分)	0	0	
4-248		利子補給に係るもの(前々年度分)	0	0	
4-249	前年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(前年度分)	2,516,776	2,635,061	
4-250	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(前年度分)			
4-251	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(前年度分)	0	0	
4-252	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(前年度分)	1,335,574	1,255,737	
4-253	礎数値 前年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(前年度分)	0	0	
4-254	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(前年度分)	0	0	
4-255	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(前年度分)	0	280	
4-256	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(前年度分)			
4-257	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	652,718	559,361	
4-258	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	76,399	68,189	
4-259		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(前年度分)	851,764	1,022,068	
4-260		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(前年度分)	437,576	392,635	
4-261		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	0	0	
4-262		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	355,881	358,016	
4-263		⑮ 標準税収入額等(前年度分)	18,179,760	17,971,932	
4-264		⑯ 普通交付税額(前年度分)	587,140	759,512	
4-265		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(前年度分)	1,016,180	921,694	
4-266		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(前年度分)	0	0	
4-267		⑥の内訳			
4-268		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(前年度分)	0	0	
4-269		いわゆる五省協定等により、利(前年度分)	0	0	
4-270		国営土地改良事業並びに独立(前年度分)	0	0	
4-271		地方公務員等共済組合が建設(前年度分)	0	0	
4-272		社会福祉法人が施設の建設の(前年度分)	0	0	
4-273		損失補償又は保証に係る債務(前年度分)	0	0	
4-274		地方公共団体以外の者の債務(前年度分)	0	0	
4-275		その他これらに準ずると認めら(前年度分)	0	0	
4-276		利子補給に係るもの(前年度分)	0	0	
4-276	本年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(本年度分)	2,635,061	2,489,135	
4-277	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(本年度分)			
4-278	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(本年度分)	0	0	
4-279	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(本年度分)	1,255,737	1,162,996	
4-280	礎数値 本年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(本年度分)	0	0	
4-281	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(本年度分)	0	0	
4-282	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(本年度分)	280	2,652	
4-283	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(本年度分)			
4-284	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	559,361	529,815	
4-285	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	68,189	50,685	
4-286		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(本年度分)	1,022,068	1,133,295	
4-287		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(本年度分)	392,635	360,827	
4-288		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	0	0	
4-289		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	358,016	364,904	
4-290		⑮ 標準税収入額等(本年度分)	17,971,932	17,692,263	
4-291		⑯ 普通交付税額(本年度分)	759,512	1,008,156	
4-292		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(本年度分)	921,694	863,304	
4-293		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(本年度分)	0	0	
4-294		⑥の内訳			
4-295		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(本年度分)	0	0	
4-296		いわゆる五省協定等により、利(本年度分)	0	0	
4-296		国営土地改良事業並びに独立(本年度分)	0	0	

4-297		地方公務員等共済組合が建設	(本年度分)	0	0			
4-298		社会福祉法人が施設の建設の	(本年度分)	0	0			
4-299		損失補償又は保証に係る債務	(本年度分)		0			
4-300		地方公共団体以外の者の債務	(本年度分)		0			
4-301		その他これらに準ずると認めら	(本年度分)	0	0			
4-302		利子補給に係るもの	(本年度分)	0	0			
将来負担比率	5-303	将来負担比率*	早期健全化基準(市町村350%政令市400%)	四捨五入	140.944	139.999		
	5-304	将来負担比率(総務省)		切捨て	140.9	139.9		
	5-305	補正将来負担比率*		四捨五入	148.899	147.431		
	5-306	修正将来負担比率*(連結実質黒字額を黒字要素として算定)		四捨五入	136.754	130.631		
	5-307	補正修正将来負担比率*		四捨五入	144.472	137.566		
	5-308	将来負担額	A	(本年度分)	63,079,274	62,439,669		
	5-309	充当可能財源等	B	(本年度分)	38,762,364	38,466,007		
	5-310	将来負担額(将来負担額から充当可能)	A-B	(本年度分)	24,316,910	23,973,662		
	5-311	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=E+F	(本年度分)	19,653,138	19,563,723		
	5-312	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	E	(本年度分)	18,731,444	18,700,419		
	5-313	臨時財政対策債発行可能額	F	(本年度分)	921,694	863,304		
	5-314	元利償還等に係る基準財政需要額算	D(=実質公債費比率の⑨~⑭・⑰)	(本年度分)	2,400,269	2,439,526		
	5-315	標準財政規模から元利償還等に係る	C-D	(本年度分)	17,252,869	17,124,197		
	5-316	将来負担比率の算定	将来負担額	地方債の現在高		35,487,337	35,719,636	
	5-317	に用いた、将来負担		債務負担行為に基づく支出予定額		0	57,365	
	5-318	額等の算出に係る基		公営企業債等繰入見込額		15,277,293	14,704,977	
	5-319	礎数値	将来負担	組合等負担等見込額		0	0	
	5-320	比率=[A-B]/[C-D]		退職手当負担見込額		8,701,935	8,429,431	
	5-321	*100		設立法人の負債額等負担見込額	計	3,612,709	3,528,260	
	5-322			地方道路公社		0	0	
	5-323			土地開発公社		3,612,709	3,528,260	
	5-324			第三セクター等		0	0	
	5-325			連結実質赤字額		0	0	
	5-326			組合等連結実質赤字額負担見込額		0	0	
	5-327		充当可能財源	充当可能基金		3,923,962	4,043,793	
	5-328		等	充当可能特定歳入	計	8,180,502	8,328,713	
	5-329				うち都市計画税	8,180,502	8,328,713	
	5-330			基準財政需要額算入見込額		26,657,900	26,093,501	
	5-331		A	将来負担額	合計	63,079,274	62,439,669	
	5-332		B	充当可能財源等	合計	38,762,364	38,466,007	
	5-333		A-B	将来負担比率算定の分子の額	合計	24,316,910	23,973,662	
	5-334		D	算入公債費等の額	合計	2,400,269	2,439,526	
	5-335		C-D	将来負担比率算定の分母の額	合計	17,252,869	17,124,197	
	参考比率	6-336		実質黒字比率(+)又は実質赤字比率(-)		1.23	3.88	
		6-337	財政統計研究所*	連結実質黒字比率(+)又は連結実質赤字比率(-)		3.67	8.19	
6-338		(切捨処理後の比率)	実質公債費比率(3ヵ年平均)		8.1	8.0		
6-339			将来負担比率		140.9	139.9		
6-340			実質赤字比率	-	-			
6-341		総務省 公表比率	連結実質赤字比率	-	-			
6-342			実質公債費比率(3ヵ年平均)		8.1	8.0		
6-343			将来負担比率		140.9	139.9		
6-344		参考比率分母(1)*	実質黒字額又は赤字額/歳入総額		0.69	2.12		
6-345		⇒ 歳入総額	連結実質黒字額又は赤字額/歳入総額		2.04	4.49		
6-346		実質公債費負担額/歳入総額		4.20	3.40			
6-347		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入総額		68.59	67.09			

6-348	参考比率分母(2)*	実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	1.08	3.31		
6-349	⇒ 歳入一般財源等	連結実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	3.20	7.00		
6-350		実質公債費負担額/歳入一般財源等	6.59	5.30		
6-351		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入一般財源等	107.51	104.56		
6-352	参考比率分母(3)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	1.69	5.21		
6-353	⇒ 基準財政需要額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	5.01	11.02		
6-354		実質公債費負担額/基準財政需要額	10.33	8.35		
6-355		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政需要額	168.56	164.66		
6-356	参考比率分母(4)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	1.78	5.61		
6-357	⇒ 基準財政収入額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	5.30	11.85		
6-358		実質公債費負担額/基準財政収入額	10.93	8.97		
6-359		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政収入額	178.25	177.05		
6-360	参考比率分母(5)*	実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	2.38	7.42		
6-361	⇒ 住民基本台帳人口	連結実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	7.07	15.68		
6-362		実質公債費負担額/住民基本台帳人口	14.59	11.88		
6-363		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/住民基本台帳人口	237.95	234.30		
6-364	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	243,447	759,223		
6-365		連結実質黒字額又は赤字額	722,859	1,604,192		
6-366		実質公債費負担額	1,490,809	1,215,257		
6-367		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	24,316,910	23,973,662		
6-368	参考比率分母	(1)歳入総額	35,453,979	35,731,321		
6-369		(2)歳入一般財源等	22,619,211	22,927,207		
6-370		(3)基準財政需要額	14,426,019	14,559,144		
6-371		(4)基準財政収入額	13,641,835	13,540,480		
6-372		(5)住民基本台帳人口(2012(H24)年度より外国人人口を含む)	102,193	102,320		
対前年増減	7-373 実質赤字比率	実質黒字比率又は実質赤字比率		2.64		
	7-374 対前年増減*	補正実質黒字比率又は補正実質赤字比率		2.76		
	7-375	早期健全化基準		0.00		
	7-376 (参考)公営比率	公営会計連結黒字比率又は公営会計連結赤字比率		1.88		
	7-377 対前年増減*	補正公営会計連結黒字比率又は補正公営会計連結赤字比率		1.96		
	7-378 連結実質赤字比率	連結実質黒字比率又は連結実質赤字比率		4.52		
	7-379 対前年増減*	補正連結実質黒字比率又は補正連結実質赤字比率		4.72		
	7-380	早期健全化基準		0.00		
	7-381 実質公債費比率	実質公債費比率(3年平均)		-0.11		
	7-382 対前年増減*	単年度実質公債費比率		-1.54		
	7-383	補正単年度実質公債費比率		-1.66		
	7-384 将来負担比率	将来負担比率		-0.95		
	7-385 対前年増減*	補正将来負担比率		-1.47		
	7-386	修正将来負担比		-6.12		
	7-387	補正修正将来負担比率		-6.91		
	7-388 健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額		515,776		
	7-389 対前年増減*	連結実質黒字額又は赤字額		881,333		
	7-390	実質公債費負担額		-275,552		
	7-391	将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)		-343,248		
	7-392 健全化比率分母	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)		-89,415		
	7-393 対前年増減*	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を除く)		-31,025		
	7-394	臨時財政対策債発行可能額		-58,390		
	7-395 参考比率分母	歳入総額		277,342		
	7-396 対前年増減*	歳入一般財源等		307,996		
	7-397	基準財政需要額		133,125		
	7-398	基準財政収入額		-101,355		

団体指定・健全化比率DB

池田市・2007年～2012年・連結会計決算

サンプル・一部表示 / 財政統計研究所

財政統計資料館  
<http://zaisei.net/>